

## 8月9日 岩手県沖の地震

（2025年11月以降の三陸沖から岩手県沖にかけての地震活動）

2026年8月9日02時57分に岩手県沖の深さ40kmでM5.6の地震（最大震度4）が発生した。この地震は、発震機構（CMT解）が西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

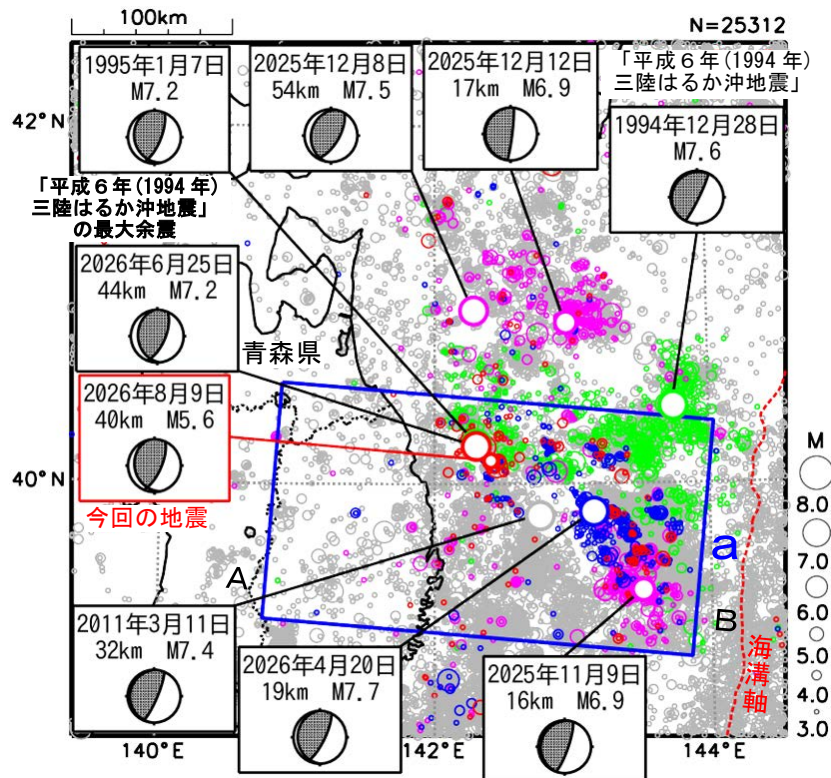
2020年9月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近（領域b）では、2025年11月4日からまとまった地震活動が見られるようになり、11月9日にM6.9の地震（最大震度4）が発生した。その後、この地震の北西側で2026年4月20日にM7.7の地震（最大震度5強）が発生すると、地震活動はさらに活発となった。2026年6月25日にはM7.2の地震（最大震度6強）が発生し、その近傍で今回の地震が発生した。

1994年12月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近では、1995年1月7日にM7.2の地震（最大震度5、「平成6年（1994年）三陸はるか沖地震」の最大余震）が発生している。

### 震央分布図

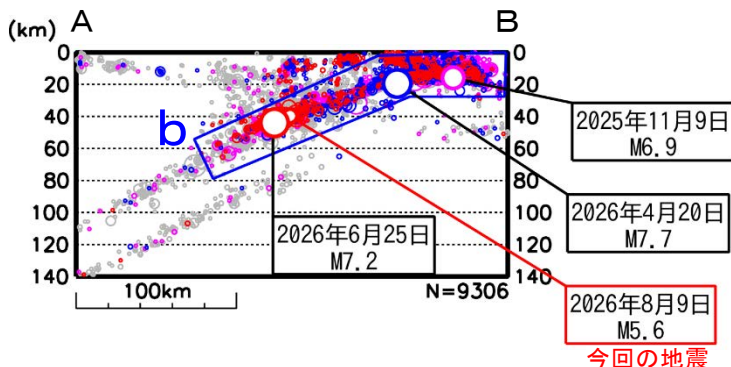
（1994年12月1日～2026年8月31日、深さ0～140km、M≥3.0）

- 1994年12月1日～1995年1月31日
  - 1995年2月1日～2025年10月31日
  - 2025年11月1日～2026年4月19日
  - 2026年4月20日～2026年6月24日
  - 2026年6月25日以降
- 図中の発震機構はCMT解を示す

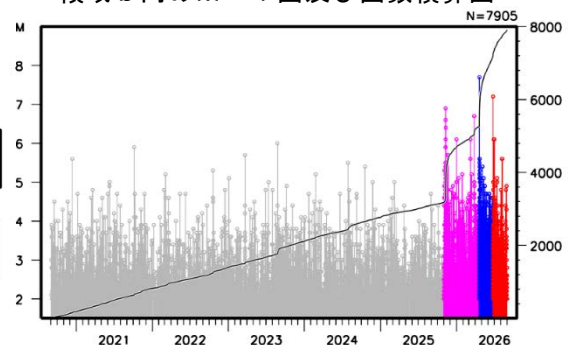


### 領域a内の断面図（A－B投影）

（2020年9月1日～2026年8月31日、M≥2.0）



### 領域b内のM－T図及び回数積算図



# 令和8年8月 地震・火山月報（防災編）

2025年11月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、2026年4月20日に発生したM7.7の地震以降、地震活動域が北西側に広がり、6月25日のM7.2の地震や7月1日のM6.1の地震、今回のM5.6の地震が発生するなど、地震活動は活発な状態が続いている。

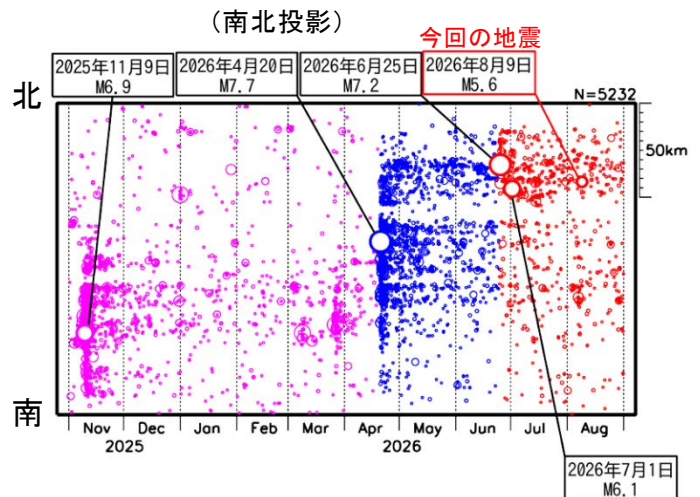
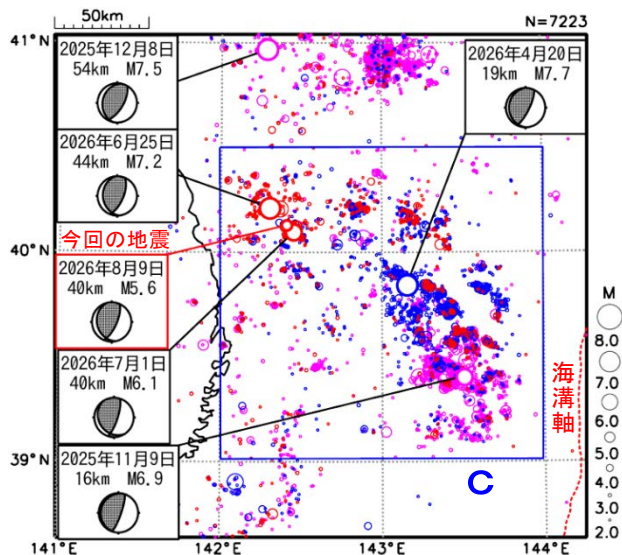
領域cでは、2026年8月1日から31日までに震度1以上を観測する地震が17回（震度4：1回、震度3：0回、震度2：2回、震度1：14回）発生するなど、引き続き地震活動が活発である。

## 震央分布図及び領域c内の時空間分布図

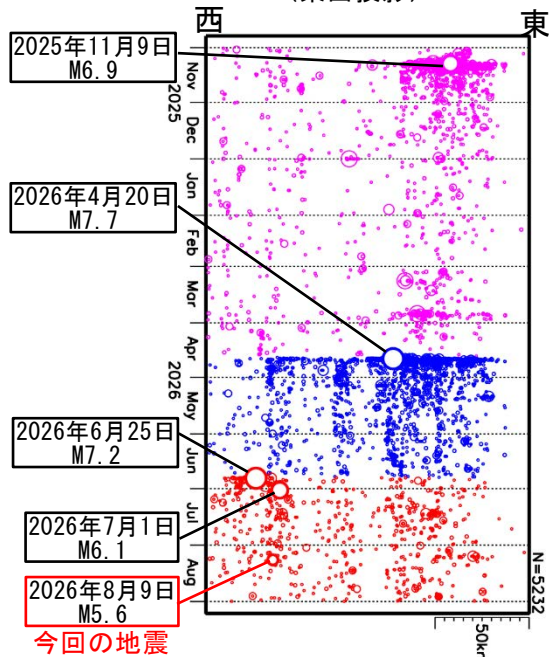
（2025年11月1日～2026年8月31日、

深さ0～80km、M≥2.0）

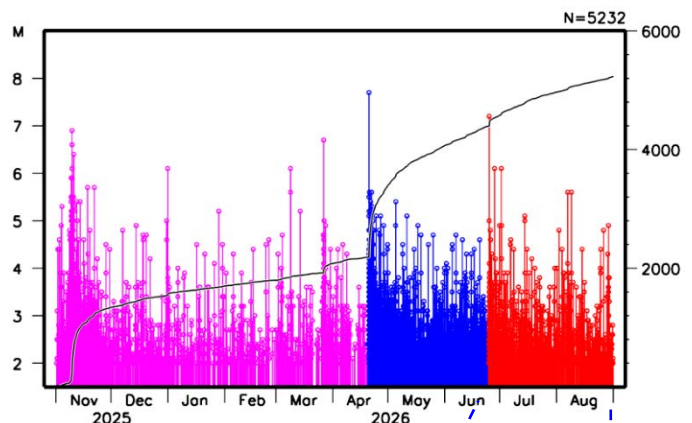
●2025年11月1日～2026年4月19日    ●2026年4月20日～2026年6月24日  
●2026年6月25日以降    図中の発震機構はCMT解を示す



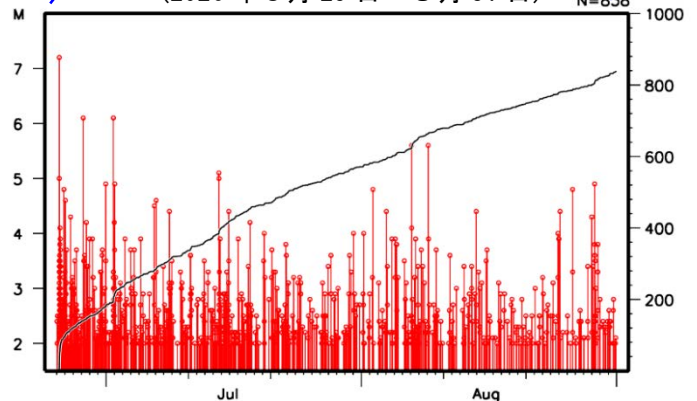
## （東西投影）



## 領域c内のM-T図及び回数積算図



## （2026年6月25日～8月31日）

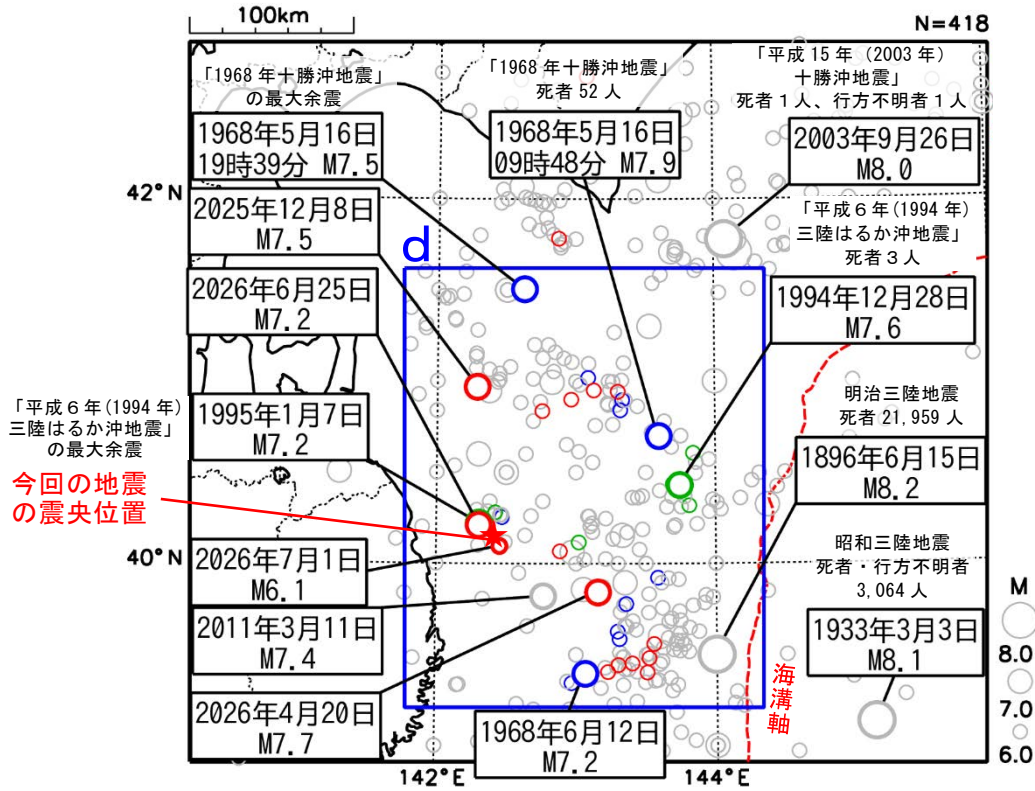


## 令和8年8月 地震・火山月報（防災編）

1885年以降の地震活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域d）は、M7を超える地震や、それに伴う津波が度々発生しており、地震活動が活発な領域である。1896年6月15日には、M8.2の地震（明治三陸地震）に伴う大きな津波が発生し、死者21,959人に上るなど、甚大な被害が生じた（被害は「日本被害地震総覧」による）。

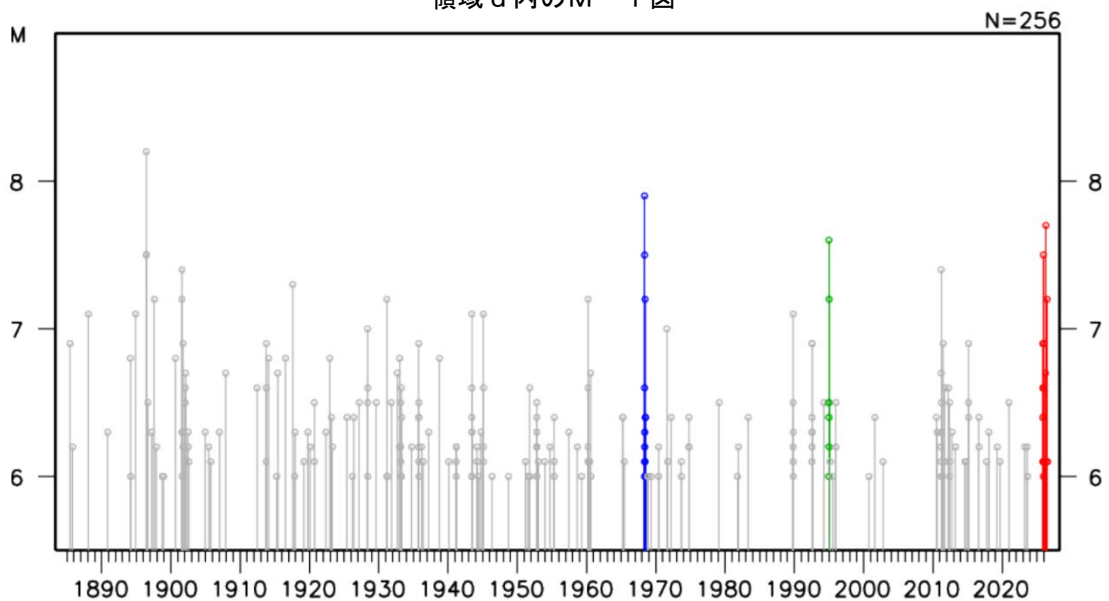
震央分布図  
(1885年1月1日～2026年8月31日、  
深さ0～100km、 $M \geq 6.0$ )

● 1968年 5 月 16日～1968年 7 月 31日
 ● 1994年 12月 28日～1995年 1 月 31日
 ● 2025年 11月 1 日以降  
● 上記以外の期間



震源要素は、1885～1918年は茅野・宇津（2001）、宇津（1982、1985）による<sup>※1</sup>。被害は、「日本被害地震総覧」による。

領域 d 内の M-T 図



※ 1 宇津徳治，日本付近のM6.0以上の地震及び被害地震の表：1885年～1980年，震研彙報，57，401-463，1982。  
宇津徳治，日本付近のM6.0以上の地震及び被害地震の表：1885年～1980年（訂正と追加），震研彙報，60，639-642，1985。  
茅野一郎・宇津徳治，日本の主な地震の表，「地震の事典」第2版，朝倉書店，2001，657pp。